

なるほど

ぶつじ 仏事



じょうどしんしゅうほんがんじはびんごきょうく
浄土真宗本願寺派備後教区
じぎょうすいしんいんかい
事業推進委員会

花まつり かんぶつえ (灌仏会)

しゃが
お釈迦さまのご誕生を
お祝いしましょう

花まつり(灌仏会)は、お釈迦さまのご誕生をお祝いする仏教行事です。お釈迦さまが、4月8日、満開の花園でお生まれになったことに由来して、**花まつり**といわれるようになりました。

又、お釈迦さまがご誕生になった時、天から「甘露の雨が降り注いだ」という話が伝わっています。このことから、お釈迦さまの像に甘茶をかける**灌仏会**が行われるようになりました。みなでお祝いしましょう。



阿弥陀如来とお釈迦さまはどう違う？

によらいしよいこうしゅつせ
如来所以興出世
ゆいせつみだほんがんかい
唯説弥陀本願海

『正信偈』

によらいよこうしゅつ
如来、世に興出したまふゆゑは、
みだほんがんかい
ただ弥陀の本願海を説かんとなり。

親鸞聖人は、『正信偈』の中で「お釈迦さまは、阿弥陀如来がおこされた願いを伝えるため、この世にお生まれになった方」だとおっしゃっています。

お釈迦さまは約2500年前、すべての人びとの苦しみや悩みの原因を考え、その苦悩を乗り越え安らかに生きてゆく為には、阿弥陀如来のお救いによるほかないことを説きひろめてくださいました。

ですからお釈迦さまのことを「**教主**(教えてくださる主)、阿弥陀如来を「**救主**(救ってくださる主)」とお敬いします。



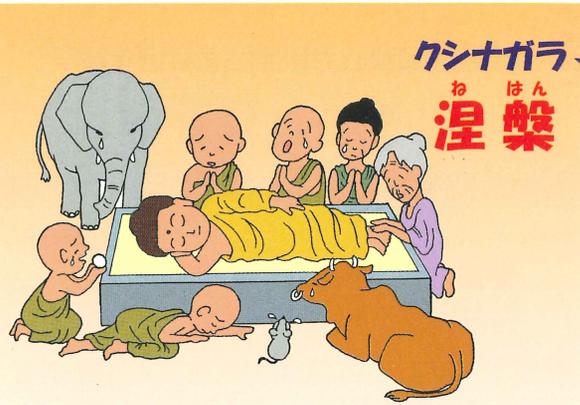
阿弥陀如来の
お救いを

お釈迦さまが
説かれ

親鸞聖人が
受け取り

今私のもとへ
届けられています





クシナガラ
おはん
涅槃

各地で布教伝道を行ってこられたお釈迦さまは、80歳の時、クシナガラでサーラ樹（沙羅双樹）のもと、頭北面西右脇（頭を北・顔を西・右脇を下に向け）のお姿で息を引きとられました。



お釈迦さまのご生涯

ルンビニー
誕生



お釈迦さまはヒマラヤ山脈の麓、現在のネパールのルンビニーで釈迦族の王子としてお生まれになりました。父はスドーダナ王、母はマーヤー夫人、名前をゴータマ・シッタッタといいました。



サールナート
しょてんぽうりん
初転法輪

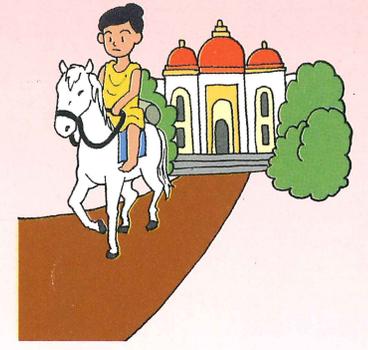
さとりを開かれたお釈迦さまは、サールナートで、修行時代の旧友5人に初めて説法をされました。この最初の説法を、初めて法の輪を回す喩えから「初転法輪」といいます。



ブツダガヤ
じょうどう
成道

お釈迦さまは35歳の時、ブツダガヤのアシュヴァッタ樹（菩提樹）の下に坐り瞑想にはいられました。あらゆる煩惱に打ち勝ち12月8日の明け方、真実の智慧を得、さとりを開かれました。

しゅっけ
出家



シッタッタ王子は「この世には生きていく限り避けることのできない老・病・死という苦しみがある。これらをどうしたら乗り越えられるのだろうか？」と悩んでおられました。その苦悩を解決する為、29歳の時ついに王子は王位を捨てて妻子をおいて出家することを決意されました。